



必ず見てくれる人はいる

ご進級、ご入学おめでとうございます。

春の柔らかな日差しが心地よい季節となりました。春休みを終え、一段と大きく成長した子どもたちは、期待と希望、そしてちょっぴりの緊張を胸に、新しい学年・新しい学校での生活をスタートさせました。校舎には、子どもたちの元気な挨拶と笑顔があふれ、新しい生活への意気込みが感じられます。

さて、学校での集団生活、あるいは日々の学習の中で、子どもたちは様々な壁にぶつかります。新しいことへの挑戦や、友達との関わり、あるいはちょっとした困難に直面したとき、「どうせ無理だ」「嫌になった」と気持ちが沈んでしまったり、努力することをやめたくなくなったりすることもあるでしょう。そうした日常の些細な出来事の中で、つい気持ちが腐りかけたり、投げやりな態度になってしまったりするのは、成長の過程で誰もが経験することかもしれません。

しかし、大切なのは、そんなときでも決して諦めず、めげずに一歩ずつ、コツコツと一生懸命に対処し、努力を続けることです。たとえ周りの誰も見ていないと思えるような場面でも、地道な努力を重ねる姿は、それ自体が立派であり、必ずや見てくれる人の心を打ち、感動を与えるものです。

私たちは、子どもたちに「誰も見ていなくても、自分が見ている」という意識を持つことの大切さを伝えています。これは、良い行いをする上でも、また、ふとした瞬間に楽な道を選びそうになったとき、自分自身を律する上でも、非常に重要な心構えです。人から褒められたいから頑張るのではなく、自分の良心に従って行動する。その積み重ねこそが、確かな自信と人間的な成長に繋がるのです。

そして、頑張って努力を続けた結果、物事がうまく運んだとき、目標を達成できたときには、「神様はみてくれてるんだ」「努力は報われるんだ」と、素直にその喜びを噛みしめてほしいと願っています。その喜びこそが、次なる挑戦への活力となり、困難を乗り越える糧となるからです。

新しい環境で戸惑うこともあるかと思いますが、教職員一同、子どもたち一人ひとりの頑張りをしっかりと見つめ、温かく、そして時に厳しく指導・支援して

まいります。保護者の皆様におかれましても、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

檀原神宮前駅

西出口改札口のツバメ



毎年、この時期になると、檀原神宮前駅構内ではツバメが巣を作り、子育てをする姿が見られます。駅では、乗客の皆様にご迷惑がかからないよう、ツバメの子育てを温かく見守りながら、張り紙や足下の汚れ防止シートの設置といった対策を講じています。親ツバメは餌運びで大忙し。改札口を出入りする人々の頭をかすめるように飛び回ることも度々です。

ツバメは、古くから家の軒先などに巣を作ることから「家内安全」をもたらす縁起の良い鳥とされています。今や、このツバメの営みは檀原神宮前駅の春の風

物詩となり、季節の移り変わりを感じさせてくれます。新しい学年を迎え、部団長を先頭に一年生を気遣いながら元気に登校する子どもたちの頭上を、親ツバメが勢いよく飛び交っています。

授業参観・教育講演会・引き渡し訓練について（4月24日 金曜日）

1. 授業参観

今年度最初の授業参観を、5限目（13:00から）に実施いたします。新しい環境で学ぶお子さんの様子をぜひご覧ください。

2. 教育講演会

引き渡し訓練が始まるまでの間（6限目の授業を待つ時間）に、保護者と地域の皆様を対象とした教育講演会を開催します。

演題：「BARRIER CRASH」～手話でバリアを壊し、バリアのない世界を創る～

講師：手話エンターテイメント発信団oioi

内容：笑い涙で心を動かす楽しいパフォーマンスです。

お願い：今回は保護者と地域の皆様にご覧いただき、その内容をぜひお子さんたちにもお伝えいただきたいと思いますと考えております。（児童の鑑賞はありません。）

3. 引き渡し訓練

震度5弱以上の地震などの非常事態に備え、児童を保護者へスムーズかつ確実に引き渡すための訓練を実施します。

目的：いざという時、保護者と児童が確実に出会えるようにするため、毎年訓練を行います。

当日の進め方：訓練当日までは児童のみで練習を行いますが、当日は保護者の皆様にもご参加いただき、慌てずに、全体で引き渡しの手順や要領を理解できるようにすることを目指します。

趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

